

運玉森の過去と現在



沖縄県公文書館所蔵

1945年5月11日撮影

コニカル・ヒル（運玉森）は、沖縄戦における日米両軍の激しい攻防戦があった場所のひとつである。米軍が撃ち込んだ砲弾の値段が100万ドルにも値すると称されていることから、別名「100万ドルの山」と呼ばれていた。



現在の運玉森

平和の約束

「わたし」は何も知らない
でも「おじい」は知っている 焼け焦げた悲惨な光景を

「わたし」は何も知らない
でも「おばあ」は知っている ひもじくおびえた不安な日々を

サトウキビの刈り取りがさしきく揺れんは田畑で歌いあひささめきあひ
子どもたちは笑い声をたてて駆けていく
そんな穏やかな「西原」の里

でも突然や、ってきた「戦争」という大きな魔物

その魔物は村の半分の尊い命を奪い、
そして家族も心もバラバラに引き裂いた

考えるだけで恐ろしい...
そんなことを考えられな...

今わたしたちが出来ること
それは
「戦争」は嫌だと感じる勇気を持つこと
「戦争」のこわさを伝えていく勇気を持つこと
「平和」を願うやさしい勇気を持つこと

さあ約束しよう
「平和」である今日に感謝し 毎日を大切に生きていくことを

さあ約束しよう
家族や友達と大切に思い 平和な未来のために協力しようことを

さあみんなで約束しよう
「西原」から恒久平和の願いと 未来への希望と届けることを

メッセージ手書き 西原東中学校3年生 金城桜花さん